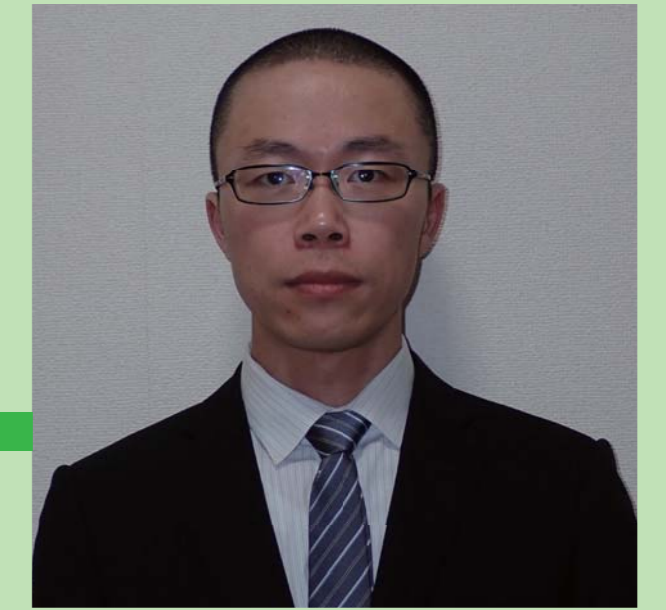


イソスミレ *Viola grayi* の分布・生育状況と保全



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

黒田有寿茂

砂浜や砂丘に成立する海浜植生は、特に 1900 年代以降、人工護岸化や様々な土地利用の拡大により大きく縮小してきました。その影響で多くの海浜植物が減少し、絶滅危惧種に指定されるものも増えてきています。イソスミレはそのような種の一つです。本種は本州（鳥取県以北の日本海沿岸と青森県の太平洋沿岸）と北海道南西部に分布していますが、各地で存続が危惧されています。

そこで本研究では、イソスミレの分布・生育状況を把握することを目的に、各地の砂浜・砂丘で調査を行いました。その結果、生育地は海浜のやや内陸側に位置し、いずれの分布地でも限定的であることがわかりました。イソスミレは開発により失われやすい種であり、保全に向けては砂浜・砂丘域の縮小を避けることが極めて重要と考えられます。



砂丘に生育するイソスミレ

写真中部から下部にかけ点々とみられる半球状の植物がイソスミレ。周辺には、ハマゴウ、ケカモノハシ、カワラヨモギ、ウンランなどが生育している。

イソスミレの花と種子

花期は 4 月から 5 月。果実は蒴果。5 月上旬頃より果皮が裂開し、種子が散布される。閉鎖花は 11 月頃までつく。地上の茎葉は冬季に枯れるが、秋季以降に株元に現れる葉は越冬する。

